

(4) データ作成マニュアル【消波工 D140】

〔D140〕 消波工基本

この調査表は、消波工に関する基本的データを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

(1) データは次の単位で作成する。

- 都道府県市区町村毎とする。
- 路線毎とする。
- 消波工箇所毎とする。
- 構造形式毎とする。

(2) 消波工に関する写真・図面類については「D141消波工図面類」にて作成する。

(3) 消波工に関する補修履歴等については「D142消波工補修歴」にて作成する。

2. 記入事項

(A) 処理区分

記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（1）」を参照のこと。

(B) チェック対象フラグ

記入不要。

(C) 地建C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

上記（C）、（D）、（E）の記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（2）」を参照のこと。

(F) 路線

(G) 現旧区分C

上記（F）、（G）の記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（3）」を参照のこと。

(H) 整理番号1

該当する消波工に対して一意に識別するための整理番号を記入する。なお、記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編），§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（5）」を参照のこと。

(I) 整理番号2

‘0000’を記入する。

(J) 整理番号3

‘0000’を記入する。

(N) 補助番号

記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編），§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（3）」を参照のこと。

(P) 名称

該当する消波工施設の名称を、10文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字）で記入する。名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入する。

(Q) 百米標自（km）

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編），§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（4）」を参照のこと。

(R) 距離自（m）

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編），§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（4）」を参照のこと。

(S) 百米標至（km）

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編），§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（4）」を参照のこと。

(T) 距離至（m）

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編），§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（4）」を参照のこと。

(U) 調製年月日

データの調製年月日（新規で作成した年月日）を記入する。（年は西暦年で記入）

（記入例） 1995年 2月 1日 ——> 19950201

(V) 改訂年月日

データの改訂年月日（基本台帳を修正した年月日）を記入する。（年は西暦年で記入）

なお、新規で作成の場合、該当なしとして「*」を記入する。

（記入例） 1995年10月 1日 ——> 19951001

(W) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（6）」を参照のこと。

（記入例） 昭和61年 ——> $\begin{array}{c} 361 \\ \uparrow \\ \text{年号コード（3：昭和）を記入する} \end{array}$

(X) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（6）」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「*」を記入する。

（記入例） 平成 5年 ——> $\begin{array}{c} 405 \\ \uparrow \\ \text{年号コード（4：平成）を記入する} \end{array}$

(Y) 上り下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上 り 線	1
下 り 線	2

(AA) 所在地自

該当する区間の始点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(AB) 所在地至

該当する区間の終点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(AC) 完成年月

消波工が完成した年月を記入する。（年は西暦年で記入）

（記入例） 1986年 3月 ——> 198603

(AD) 設置延長 (m)

該当区間に設けられている消波工の延べ延長を、小数点以下1位まで記入する。

(AE) 設置道路延長 (m)

消波工が設置されている道路の延長を、小数点以下1位まで記入する。

(AF) 最大高 (m)

(AG) 最小高 (m)

上記 (AF)、(AG) については、消波工の高さの最大値、最小値を、小数点以下1位まで記入する。なお、高さが一定の場合は、最大と最小の記入欄に同値を記入する。

(AH) 構造形式C

構造形式について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
法 面 消 波 工	1 1
直立消波ケーソン	1 2
直立消波ブロック	1 3
そ の 他	9 9

(AJ) 基礎形式C

基礎形式について、該当するコードを記入する。なお、形式が複数ある場合は代表的なものを記入する。

区 分	コード
敷 砂	1 1
捨 石	1 2
捨ブロック	1 3
杭	1 4
コンクリート	1 5
その他	9 9

(AL) 管理協定有無C

管理協定の有・無について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
無 し	1
有 り	2

(AN) 管理協定年月日

管理協定がある場合、管理協定がなされた年月日を記入する。（年は西暦年で記入）

管理協定がない場合は「＊」を記入する。

（記入例） 1984年 3月15日 ——> 19840315

(AO) 管理者名

管理者名を15文字以内の日本語で記入する。管理協定がない場合は「＊」を記入する。

(AP) 備考

特記事項があれば30文字以内の日本語で記入する。

(AQ) 市区町村C

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは自治省作成の「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

（記入例） 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401
（検査数字は含まない）

(AS) 初期登録日付

(AT) 修正日付

(AU) エラー有無フラグ

上記（AS）、（AT）、（AU）については記入不要。

(AV) 予備1

(AW) 予備2

(AX) 予備3

(AY) 予備4

(AZ) 予備5

上記（AV）、（AW）、（AX）、（AY）、（AZ）の記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§2. 共通事項 2-2 共通記入事項（7）」を参照のこと。

〔D 1 4 1〕 消 波 工 図 面 類

この調査表は、消波工に関する基本台帳内に出力される図面類の検索用データを作成するためのものである。

1. 一般的注意事項

- 「D140消波工基本」の作成単位毎とする。
- 図面種別毎とする。

2. 記入事項

MICHIデータ作成マニュアル § 3. 図面類表に関するデータ記入マニュアルを参照して記入する。なお、イメージ登録用台紙の作成方法については「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）， § 3. 基本台帳イメージデータの作成方法」を参照して作成する。

〔D 1 4 2〕 消 波 工 補 修 歴

この調査表は、消波工の補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- ☐ 「D140消波工基本」の作成単位毎とする。
- ☐ 補修が行われた毎とする。

2. 記入事項

(A) 処理区分

記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2－2 共通記入事項（1）」を参照のこと。

(B) チェック対象フラグ

記入不要。

(C) 地建C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

上記（C）、（D）、（E）の記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2－2 共通記入事項（2）」を参照のこと。

(F) 路線

(G) 現旧区分C

上記（F）、（G）の記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2－2 共通記入事項（3）」を参照のこと。

(H) 整理番号1

該当する消波工の補修歴に対する親表（「D140消波工基本」）の整理番号を記入する。なお、記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2－2 共通記入事項（5）」を参照のこと。

(I) 整理番号2

該当する消波工の補修歴に関するデータに対して、一意に識別するための整理番号を記入する。

なお、記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（5）」を参照のこと。

(J) 整理番号3

‘0000’を記入する。

(N) 補助番号

記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（3）」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。（年は西暦年で記入）

（記入例） 1985 年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
基礎の修復・補強	101
本体の修復・補強	102
そ の 他	999

(S) 備考

損傷原因等について30文字以内の日本語で記入する

(T) 初期登録日付

(U) 修正日付

(V) エラー有無フラグ

上記（T）、（U）、（V）については記入不要。

(W) 予備1

(X) 予備2

(Y) 予備3

(Z) 予備4

(AA) 予備5

上記（W）、（X）、（Y）、（Z）、（AA）の記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル（共通編）」、§ 2. 共通事項 2-2 共通記入事項（7）」を参照のこと。